

今後は尙一段と統計調査に盡瘁すると共に此度賜りました  
總裁閣下、統計課長殿よりのお言葉に副ひ、一方また本職に  
よりにて意得したる智識を農村經濟更生にも活用し農家の福利

増進にも努力致す決心であります。  
感激の余り一言御禮を兼ね光榮の御挨拶を申し上げます。

### 統計調査員會狀況報告

稻敷郡安中村統計調査員會

- 一、開催月日 昭和十年三月二十五日
- 二、出席人員 十六名(定員十八名)
- 三、協議事項

- 1、春季調査方法ニ關スル件
- 2、統計事務優良町村視察ニ關スル件

- 一、開催月日 昭和十年三月二十三日
- 二、出席人員 九名(定員九名)
- 三、協議事項(一)春季調査

- (イ)大小麥ノ作柄調査(田畑)(ロ)桑園ノ調査(ハ)茶種ノ調査(田畑)(ニ)馬鈴薯ノ調査(田畑)、其ノ他春季作物ノ調査
- (二)專蹟簿調製資料調査ノ件

- (イ)調査票ノ右側欄外ニ一筆毎耕作者氏名ヲ記入、(ロ)域内ノ職業別分類(用紙配付)(ハ)調査票ニヨリ耕地ノ廣狹分類
- (ニ)他町村地ノ耕作反別モ調査スルコト

### 河原子町統計主任

多賀郡河原子町統計主任は助役鈴木徹氏であつたが今回黒澤百男氏に更つた。

## 内閣統計局編纂 (昭和十年四月一日發行)

# 列國國勢要覽

|| 萬人向きの好個の國際事情研究資料 ||

ポケット用二百頁  
定價 金十五錢  
送料 金二錢

發行所 東京統計協會  
東京市京橋區銀座西三丁目二ノ五

發賣所 中央出版協會  
東京市麴町區大手町二ノ二

申込所 茨城縣廳統計課  
茨城縣水戸市北三ノ丸



## 實務道場

# 統計調査の葉

[3]

☆……統計が進歩し統計が利用されることに

☆……よつてはしめて完全なる國策は生れる

の点に注意し耕地圖及作付反別の加除を嚴にし調査上遺憾なきを期せられたる。

## 二、本季作物並果實の種類及調査期間、報告期限に關する件

本季作物の種類及調査期間、報告期限は大体左の通りであります。本季の作物は播種又は植付してから收穫迄の期間即ち作付期間甚だ短くして特に注意をしなければ調査不能となるものがありますから調査期に就ては遺憾なきを期せられたい。

## 夏は近づけり！ 鐵腕揮ふ時は來た

### 夏季調査と調査員の注意

風薫る五月も既に半ばを過ぎ、もうすぐ六月だ、鐵腕揮ふ我等が活躍の時は來た、恰も七月より八月にかけて各調査員によつて實施される夏季調査は時こそよけれ、町村も調査員も奮つて一層調査の正確完璧を期し、一段の成果を收めようではないか。左に注意す

べき諸点を参考に掲げることによつて

### 一、耕地圖及作付反別調査原簿、簿加除訂正に關する件

耕地圖及作付反別調査原簿の加除整理は特に本季節に必要なものではないが開墾地等は夏季又は秋季に始めて作付を爲すものが多からうから、特に此



其の他周囲の状況より観て正確なる資料を蒐集する様に願ひます。

戸数は其の季節に於て養蠶に従事した凡ての戸数を調査するのです、蠶種掃立數量は中途で投棄したものでも一旦掃立を爲したものは、洩らさず調査せねばならないのですが、往々にして洩らす向がありますから注意を要します、表中上繭、玉繭、屑繭と區別してありますが上繭とは普通の形態を有して汚染せぬ完全なものを謂ひ、玉繭とは二つ以上の蠶兒の合体して營まれたもの、屑繭とは上、玉繭以外のものを俗に言ふビシヨ、ノビ等と稱するものを謂ふのです。

蠶種一瓦當收繭量は氣候の適否、飼育方法の如何に依つて其の割合は一律ではありませんが大體蠶種一瓦當は五六百匁位です。

### □果樹苗

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法により作付反

表中根刈とは地上一尺未満を、中刈とは同一尺以上三尺未満を、高刈とは同三尺以上を主幹として枝條を伐截するものをいひ、立通とは一定の剪枝を行はないものを謂ふのです、尙前年の例を見るに春蠶に於て桑葉過剰の爲め刈取らざる反別を立通として調査した向もありますから注意されたい。

畑の本畑には桑を主作物とする畑反別、所謂純粹の桑畑を、畑の其他欄へは他の作物、例へば間作混作された桑畑を仕立方に依り夫々調査されたのです。

其の他欄には畦畔其ノ他畑以外に栽培せられたるものを仕立方に依り反別を見積り計上すべきものであります。

### □緑肥作物

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法に依り調査された作付反別を調査するもので、春蒔と秋蒔たるとを問はず、緑肥の目的を以て栽培したものは總て調査するので

別調査の際豫め調査し置き、更に作人に就て其の種類、數量を正確を期せられたい。

生産戸数は前年七月より其の年六月に至る間に於て果樹苗の生産に従事したる戸数を調査すべきものですが甲地に於て果樹苗を生産し、乙地に於て經營者住居する場合には戸数は乙地に於て調査し果樹苗は甲地に就て調査すべきものです、又郡農會及團體等に於て苗木を生産したる場合も戸数に準じ一戸として調査せられたい。

苗木は苗圃にある現在數を調査すべきものではありません、調査期間内に於て移植に適するもの竝に移植した數量を又配付販賣した數量價額を調べられたいのです。

尙左記の点に就き注意せられ正鵠を期せられたい。

- 1、苗木は仕立地の何れに拘らず生産者所在地に於て調査するものです、
- 2、苗木を自ら仕立て移植に適するも

す、又作付後病虫、風水害等の爲に收穫皆無となつた場合でも作付反別は調査するので、作物栽培の目的が緑肥なる場合には之を家畜の飼料にしたるものでも調査すべきであります、尙其の目的が最初より家畜の資料とするときには調査は要しません。

價額の調査に就ては實際に賣買されないで調査は至難ですから大體肥料成分に基て算定する外はないのです、大體に於てレンジ生百貫の價額及モクシク生八十貫の價額は大豆粕一枚の價額に略々匹敵しますから其れに依り算定せられたい。

### □澱粉

(報告期七月十五日限)

製造場數は前年七月より其の年六月に至る期間内に於て澱粉の製造作業をなしたる場數を調査し、其の生産に就ては馬鈴薯より製したるもの、甘藷より製したるもの、其の他より製したるものに別ち、各其の數量、價額を調査

のとして他地方商人に販賣し更に個人に販賣したる後其の賣殘品を肥培し、翌年に持越し販賣したる場合には仕立地に於て調査するのです、

### □茶畑

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法に依り調査し採葉の樹齡に達しなくとも其の反別は調査すべきもので採葉の樹齡は普通四年位です

畑の欄には茶を主作物とする反別及混作間作された反別を、其の他の欄には畦畔其の他畑以外に栽培された反別を見積り計上されたい。

### □桑畑

(市町村報告期七月十五日限)

本表は農産物調査方法に依り調査すべきものですが採葉の樹齡に達しなく洩れなく調査せられたい。

するのであります、但し學校、試験場講習所等の生産品及自家用生産品は調査の要はありません。

尙本表は工場調査規則該當工場のものにありては工場票との關係もありますから、工場に付き詳細調査の上正鵠を期すべきであります。

### □人口動態調査票

#### 作成に就て

毎月五日までに進達します人口動態調査票は法規の定むる所に依り夫々記入するのであります但未だに不備が多くて照覆を重ねるのは甚だ遺憾に堪えません、左に特に注意すべき事項を記載しましたから今後之を参考として相違なき様御取扱を願ひます。

#### 一、各票一般の注意

1、各票中前月最終番號と其の月の始めの番號と對照すると番號の欠號のものがありますので之を照會してみますと提出洩として追送する向もあ

りますから、前月提出しました最終の番號に適當に印を附して重複脱漏等のない様に願ひます。

ロ、他の市町村に本籍があるもので寄留地の市町村に於て婚姻、離婚、出生、死亡等を届出た場合に寄留地の市町村から小票を進達する向もありますが、右の場合は本籍地の市町村から提出し、寄留地からは提出する必要はないのであります。

ハ、年月日（出生、死亡、届出年月日等）欄に記入する文字は拾、拾貳、參拾壹等の様な文字を用ひず十、十一、三十一の様に記入するのです。

ニ、區制を施行して居る東京市、京都市、大阪市、名古屋市、横濱市、神戸市の様な所にありましては左の様に記入するのです。區制の施行しない市では町村名欄の記入は要しませぬ。

區制を施行します市の記入例  
府縣の下「東京府」郡市の下に東京市

を引き備考欄に「ナシ」と記入すること、尙市町村役場名の下には、必ず町村長の職印を押捺するのです。

### 二 婚姻票

一、種別の欄普通、入夫、婿養子、何れの項にも鬨点洩のものありますから注意を願ひます。

四、届出の年月日本籍地を異にする婚姻の場合關係の市町村から婚姻届書廻送を受けた年月日を届出の年月日に記入するものがありますが右は戸籍簿に依り判る筈ですから混同しない様に注意を願ひます。

七、配偶の關係初婚、死別、離別、不詳の内、鬨点脱落又は二箇所に鬨点を附すものがあります、又自町村に本籍を有するもので不詳に鬨点を附すものもありますが右は戸籍簿に依つて判る筈ですから注意を願ひます

### 三 離婚票

一、種別鬨点脱落又は二箇所に鬨点を附するものがありますから注意を願

町村の下に「本所區」  
ホ、各票中「○」点を附す箇所に○を洩らすのがあります。

ヘ、各票中「同」の文字を記入するものがありますが必ず同の文字を用ひない様に願ひます。

ト、各票中に記入する職業欄には届書にあり職業を記入することになつて居りますが配付してある職業分類の小分類に依り分類が出来る様に記載を願ひます。

職工は單に職工としないで石工、左官、家大工等と詳しく記入して頂きます。

農業のものは農作、小作農作と記入しないで農耕業主、農業手助の様に記入するのです。

他市町村から送付して來ます届書に單に職工又は職業が不明のものは其の旨符箋して置くのです、本業なき家族は單に「ナシ又は無職業、其の他の無業者」としないで家族の一員

ひます。

四、協議離婚届出の年月日、本籍地が違ふ場合の離婚で他市町村から書類の廻送を受けたる年月日を届出の年月日に記入するものがありますが右は届書に記入しある届出の年月日を記入するものですから注意を願ひます。

五、裁判離婚。確定の年月日は訴を提起した年月日を記入せず離婚届書に添付の裁判の謄本に記載しある裁判確定の年月日を記入するのです。

七、氏名欄には離婚成立後即ち離婚に依つて復籍するものは其の復籍した其の家戸主又は離婚に依つて一家創立したものは其の氏を記入するのです。

### 四、出生票

種類番號の下（ ）内に雙兒以上は雙兒又は三兒と記入するのです。

一、氏名及男女の別氏名では男であるか女であるか疑はしいものもありま

なるときは、從屬者と記入するのです。小學校の兒童は單に生徒と記入して差支ありません。無業者で一定の収入がないものは「其の他の無業者」と記入するのです。

### 二、調査票進達に就て

イ、調査票の進達に就ては調査票と市町村送致目録と一括して進達することになつて居りますが調査票のみで送致目録添付洩のものもありますから御注意を願ひます。

ロ、調査票の紛失毀損等を防ぐため従來帶封を施し進達する事になつて居りますが、各町村共帶封が區々ですから爾今左記に依り進達を願ひます  
1、各票括は幅凡一寸  
2、町村括は前同様とし縦横（十字形）に之を施すこと  
3、紙質は成るべく強靱の生紙を用ふるやう願ひます

### 一、市町村送致目録

調査票のなき欄は枚數の箇所に斜線

すから其の場合は相違なき旨の符箋の貼付を願ひます。

五、父母の職業欄。嫡出子のときは父母双方の、庶子のときは父のみの、私生子の場合は母のみの職業を記入するのです。

六、父母の出生の年月日欄。前同様嫡出子のときは父母の、庶子のときは父のを、私生子の場合は母の出生の年月日を夫々記入するのです。

出生後命名前に死亡したものは氏名欄には「名ツケズ」と記入するのです  
妊娠中に父死亡したときは父の出生の年月日は戸籍簿に依つて記入し職業は死亡前の職業を記入するのです

### 五、死亡票

一、氏名及男女の別。氏名のみで男女兩方に鬨点洩のものがあります。注意を願ひます。

三、四、死亡の年月日と出生の年月日と顛倒記入のものが有りますから注意を願ひます。

五、六歳未満の者の身分嫡出子、庶子  
私生子の身分に圜点洩れのものがあり  
ます注意を願ひます。

六、配偶の關係、六歳未満でも未婚に  
圜点を附するのです。

七、死亡者が家計の主働者のときは  
(甲)死亡者の職業を記入し(乙)家計の  
主なる職業は斜線を引き死亡者が主  
働者でないときには死亡者の職業を  
(甲)職業に記入し家計の主なる職業  
を(乙)職業に記入するのです。

八、死亡の原因欄、自殺には縊死、入  
水、轢死等の様に其の手段を記入す  
る筈ならに單に自殺と記入するもの  
又其の他の變死の種類欄に記入する  
溺死を記入するものがあります。

失踪の宣告を受けた者並戸籍簿の規  
定に依つて裁判所の許可を得て戸籍  
抹消した者は人口動態調査票及送致  
目録作成心得第十七、第十八に示す  
様に「種類番號第號」と印刷してある  
下の括弧内に失踪又は戸籍抹消の文

字を記入するのです。

六、死産票

二、男女の別圜点洩れ又は男女兩方に  
圜点を附すものがあります注意を願  
ひます。

四、妊娠の月數記入洩れ又不詳のものも  
其の旨記入洩れがありますから注意を  
願ひます。

五、嫡出子の場合、六 項母の職業記  
入は必要なものなるに記入のもの  
がありますから注意を願ひます。雙  
胎兒及三胎兒は人口動態調査票及送  
致目録作成心得第十九に示す様に  
「埋火葬認許證番號第 號」と印刷し  
てある下に雙兒の區別を記入するの  
です。

本票は本籍人非本籍人であるとな  
いとを問はず總て埋火葬の認許證を下  
付したものに就て作成するものなる  
も本籍人に就てのみを作成すべきも  
のと誤解して非本籍人は作成しない  
向もありますから注意を願ひます。

### 投稿歓迎

- 一、種類に制限ありません(論說  
所感、體驗實記、質疑、文藝  
其の他)揮つて投稿された  
佳作には賞品を呈します。
- 一、用紙は成るべく原稿紙とし文  
字は明瞭に書かれます。
- 一、原稿には住所氏名を明記する  
こと(但し誌上の匿名は差支  
ありません)
- 一、原稿の取捨採否は編輯部に一  
任されたい
- 一、七月號は六月二十日迄に送付  
こと
- 一、原稿は一切返送しません
- 一、宛名は「茨城縣廳統計課内茨  
城縣統計協會編輯部」宛のこ  
と



古渡調査員の視察

稻敷郡古渡村助役矢崎忠助氏、主任書記諸岡忠太郎氏  
外調査員七名は三月廿六日、那珂郡村松村の統計事務  
視察を企て、役場において各種統計の整然たる書類や  
小票を前に主任書記から説明を聴きそれから名高い虚  
空藏に詣で、青嵐の佳景を賞して歸途縣廳に立寄り記  
念撮影して引揚げた(寫真前列右から郡擔任の關廣、  
川崎課長、小林屬、其他は視察の一行)

## 統計課員總出動 廣汎な指導訓練

指導町村百二十に及ぶ

- 農林省並に商工省統計報告規則  
取扱細則の實施不充分なる町村に  
對し縣統計課では四、五の兩月に  
亘り約六十箇町村に對し、川崎課  
長をはじめ統計課員出張の上調査  
員の指導訓練會を開催したが、こ  
れを機會に隣接町村も集合せしめ  
たので其の指導町村數は百二十町  
村に及び、各地共非常な緊張のも  
とに指導を受け、頗る効果的であ  
つたといはれてゐる、願くばこの  
指導訓練をその場限りとせず、進  
んで統計の完全を期せらるゝやう  
されたい。指導要項左の如し
- 一、本調査員會開催の趣旨
  - 二、報告期限の勵行に關する件
  - 三、調査區の境界に關する件
  - 四、調査準備に關する件
  - 五、作付段別調査原簿に關する  
件
  - 六、作付反別と調査に關する件
  - 七、農産物其の他調査時期選擇  
に關する件
  - 八、集計表に關する件
  - 九、收穫高の決定に關する件
  - 一〇、春季調査に關する件
  - 一一、米生産統計調査の件
  - (1) 米生産統計基準票
  - (2) 米生産統計調査票
  - (3) 米作地見取圖

# 細密な學事年報査閲

口繪の寫眞參照……

學事年報甲款及び諸表査閲は四月十一日より同廿五日迄の間に於て市町村學事擔任吏員及各學校年報調査主任教員の集合を求め縣統計課から各擔當者が出張、それ／＼携帯せる學齡簿並に學籍簿、八年度學事年報控、就學猶豫免除關係書類、各學校提出に係る材料各學校九年二月より十年三月末に至る調査表、出席簿及學年末調査表、其他の調査資料、兒童及生徒異動明細表等につき細密なる査閲を行つた。査閲日割は左の通りである。(口繪の寫眞參照) 場所 査閲月日

久慈	茨城縣廳	四月十八日
多賀	松原町役場	四月二十二日
鹿島	元鹿島郡自治會館	四月二十三日
行方	麻生町役場	四月十七日
稻敷	茨城縣蠶業取締所 江戸崎支所	四月十五日 四月十六日
新治	土浦小學校	四月十六日
筑波	谷田部町役場	四月十九日
眞壁	元眞壁自治會館	四月十三日
結城	元結城自治會館	四月十一日

五〇

猿島	境町役場	四月十三日
北相馬	元北相馬郡自治會館	四月二十四日
水戸	縣統計課	四月二十五日

## 本縣統計事務視察

埼玉縣統計主事補森松孝作氏は三月六日、岐阜縣屬篠田恒次氏は三月十九日、岡山縣屬池畑房明氏は二月二十七日に孰れも來縣せられ本縣統計事務の處理狀況、經費、町村監督の狀況並指導方法其の他詳細に亘り視察した、又陸軍被服本廠陸軍二等主計原晴次氏は三月二十八日資源調査事務に付來縣、是れまた詳細に調査する處あつた。



## 各地統計雜信

調査員諸君  
何なりと揮  
つて御通信  
を願ひます

## 武藤水海道町長 統計の重要性力説

統計調査員會に於て

結城郡町村長會第四支部主催、水海道町外六ヶ村の統計調査員會は去る四月五日午前十時より水海道尋常高等小學校講堂に於て開催した、朝來の雨にもめげず定刻九時迄には六十余名參集した。

劈頭武藤水海道町長は統計調査そのものは甚だ地味なものである、之に従事する調査員各位の御骨折は寔に御苦勞であるけれども又振り反つて考へるに國政の基礎をなすものは統計であ

ります、小く云へば一町村の基をなすものは統計であります、故にその統計が不備であり不完全なものであつたならば其の結果は實に恐るべきものであることを具体的に述べて開會の挨拶に於て調査員を激勵し、續いて縣より臨席の川崎統計課長は現時農村救済對策として種々計劃を樹てそれ／＼實施しつゝあるも、之が基礎をなす處の統計、即ち救済の對照となるべきものゝ調査が完全に行はれてゐるか否かは事業の遂行上に重大な關係を持つてをり、若し調査が完全に施行されてゐないやうなことがあれば其の結果は推して知るべきである、何事に依らず基礎調査即ち統計が完備し居らざれば確固たる方

策は樹立し得ないと

と説明し、更に昭和九年度米生産統計調査に際し——九月二十日現在にて二百八萬七千二百石と發表せる第一回豫想收穫高に對し見積過大なりとの批難を受けたるも、統計調査は、統計調査員が各單位觀察に依つて得たる數字であつて決して人為的に動かす可らざるものであると述べ、進んで結城郡統計調査の成績を検討し、去る二月より三月に亘り施行された統計事務監査の成績より見るに他郡に比し甚だ下位にあるは遺憾に堪へないとして一段の努力を要望し、續いて小泉屬より統計調査員會々議要項(別面所載)に依り各種調査に就き詳細説明をなし午後一時四十分閉會した。

出席者は左の如く役場員七名、調査員五十三名で頗る緊張した集りであつた。

△縣 川崎統計課長、小泉屬

△水海道町 武藤町長、小島書記  
 (調査員) 杉山利助、堀越留吉、荒井藤四郎、古谷金次郎、五木田清吉、片野新吾、山野井吉雄、五木田保太郎、倉持己之助

△大生村 廣瀬書記(調査員) 木橋榮三郎  
 宇津見正一郎、永瀬永一、渡邊勝馬、杉山謙、秋場男助、飯田嘉一郎、木村谷四郎

△三妻村 船張書記(調査員) 小林清次郎  
 倉持藤吉、皆葉保、柳田長吉、小口正夫  
 中澤幸之助

△五箇村 星野書記(調査員) 橋本碩二、  
 坂入長吉、岩上辰治郎、柴芝六、廣瀬源太郎、澤田豊壽、角野映、小野松之助、吉原芳次郎

△菅原村 大根書記(調査員) 戸塚仙松、大越兼吉、戸塚森之助、中野伊重郎、北島繁藏、高橋由之助、山崎伊一郎、岡野吉重郎、大野角次、香山高之助、新井與四郎、齋藤善四郎

△豊岡村 中島書記(調査員) 中島新三郎  
 小林春次、若木貞藏、石塚捨吉、中島凌之助、石塚春吉、本田作次郎

△大花羽村 石塚助役(調査員) 草間幸三郎、石塚玄吾

### 出席八十名

#### 久慈學事統計研究

久慈郡學事統計事務研究會は四月五日午前十時より久慈郡自治會館に開催縣より全郡擔任の郡司屬が臨席して學事年報甲款及諸表作成上の注意竝に様式に就て詳細に亘る説明があり、幾多熱心なる質問に答へ午後三時閉會したが出席者は各町村書記並に小學校職員等左記七十九名に達し頗る盛會であつた。

(縣) 郡司屬(町村長會) 小祝幹事  
 (町村並小學校)  
 (磯初村) 加藤書記、秋山訓導(世矢村)  
 黒澤書記、白土訓導(坂本村) 大内書記  
 磯野訓導(東小澤村) 大貫書記(西小澤村) 小祝助役、菊池訓導、栗田訓導  
 (幸久村) 稻川助役、綿引訓導(佐竹村) 石川書記、檜山訓導、高野訓導(郡戸村)

安島書記、金子訓導、根本訓導(久米村) 川崎助役、田所訓導、鈴木訓導  
 (金郷村) 生田目書記、須藤訓導(世喜村) 古徳書記、野澤訓導、菊池訓導(金砂村) 秋山書記、大内訓導(天下野村) 根本書記(高倉村) 中郡書記、小野瀨訓導(染和田村) 後藤書記、石崎訓導(山田村) 和田書記、鈴木訓導(佐都村) 江幡書記、宮田訓導(河内村) 鈴木書記、菊池訓導(中里村) 石井書記(賀美村) 佐川書記(小里村) 澤野書記(生瀬村) 増子書記、内藤訓導、寺門訓導(宮川村) 松本書記、渡邊訓導、菊池訓導(黒澤村) 菊池書記、益子訓導、小野瀨訓導(依上村) 益子書記、木村訓導(佐原村) 町島書記、益子訓導(大子町) 益子書記、宮田訓導、益子訓導(袋田村) 菊池書記、田所訓導(上小川村) 宮田書記、仁平訓導(下小川村) 仁平書記、富岡訓導、石川訓導(諸富野村) 三次書記、川崎訓導  
 磯崎訓導、森永訓導(太田町) 菊池書記  
 黒羽訓導、豊田訓導(久慈町) 小川書記  
 荒川訓導、清水訓導、小野訓導(譽田村) 根本助役 鈴木訓導 丹訓導

### 東郡統計研究總會

二月二十二日午前十一時東茨城郡統計事務研究會の總會を全郡町村長會事務所に於て開催、併せて紀元節の佳辰にあたり表彰された水戸市農林統計調査員福田金次郎、東茨城郡下大野村書記平戸清二、全郡上中妻村書記藤地伴介、全郡長岡村書記寺山一諸氏に對する縣統計協會の表彰状及び賞品の傳達式を各町村吏員參集の下に嚴肅に舉行了した。

吉見屬の挨拶に次いで副會長代理として虎口屬より賞状を傳達、祝辭を述べ次に江橋主事より會長代理として研究會開催の挨拶をなし昭和十年度全郡研究會の豫算及び昭和八年度決算を滿場一致可決し終つて吉見屬より縣提出の議案につき更に虎口屬より統計協會希望事項について夫々説明質疑應答の後午後一時閉會した。  
 同日縣の提出議案は左の通りである。

#### 指示事項

△統計事務刷新改善ニ關スル件 △調査員訓練會ニ關スル件 △統計調査員ノ指導ニ關スル件 △統計協會ニ關スル件  
 注意事項

△報告期限ノ勵行ニ關スル件 △統計報告表製表上ニ關スル件 △園藝農産物蔬菜及花卉ノ三 △蠶網 △藜製品 △木(竹)製品  
 尙出席者は左記縣屬並に横須賀上大野村助役外二十七名である。

(縣統計課) 虎口屬、吉見屬 (郡統計事務研究會) 江橋主事(統計主任) 上大野横須賀孝太、下大野平戸清二、稻荷篠原辰次郎、大場 渡邊榮一、酒門 坂場佛三郎、石崎 大和安、吉田 皆川藤左衛門 綠岡 小林信雄、上中妻 藤地伴介、長岡 寺山一、上野合 田家熊吉、白河 小野精一、橋 内田重五郎、小川 高野林藏、竹原 大貫專之助、堅倉 飯塚長松、磯邊忠信、川根 道川定治、中妻 鶴田主計、飯富 安島彌八郎、小松 園部保彦、西郷 大高秀男、坪 島山信孝 岩船 平賀誠、澤山 小林克 伊勢畑

### 行方統計研究會

行方郡統計事務研究會では定期總會を去る四月六日同郡玉造町役場に開催した、午前十時三十分小貫研究會長の挨拶で開會、劈頭紀元節の佳辰を卜し統計功勞者として本協會安藤總裁より表彰された全郡八代村書記鬼澤長四郎及全郡行方村統計調査員藤生孫太郎兩氏に對する傳達式を行ひ、川崎統計課長これを傳達して總裁の式辭を代讀、來賓總代として小貫研究會長の祝詞及受賞者總代八代村鬼澤書記の答辭あつて閉式、直に研究會の表彰式に移つた表彰状は小貫研究會長から全郡玉造町統計主任の成島書記に授與し、次いで川崎統計課長より祝詞を兼ね今後共責務の重且つ大なるを思ひ一層努力せらるゝ様激勵する處があつた。かくて



### 統計協會 支部總會

西郡總會

書記

少額後統計協會行方郡支部設置の件を異議なく可決、昭和八年度歳入出決算の認定及昭和十年度歳入出豫算議決に關する件を満場一致可決承認した、尙會則の示す處によつて會員の互選で左の通り支部長以下役員を決定し續いて總會の議決に依り顧問の推薦を行つた

△支部長小貫三郎 △副支部長鬼澤長四郎 △幹事正木邦司 全浦橋筆松 全石橋金一 △顧問藤生孫太郎

次いで小林屬より協會提出事項に依り指示及説明の上質疑應答を重ね午後二時三十分盛會裡に散會した。當日の出席者は左の通り

(縣統計課)川崎課長、小林屬 (統計主任) 麻生町正木書記 香澄村森内書記 八代村鬼澤書記 潮來町松崎書記 津村秋永書記 大生原村浦橋書記 大田村萩原書記 大和村平塚書記 津澄村宮本書記 要村石橋書記 武田村小貫書記 秋津村鬼澤書記 立花村今泉助役 現原村仁平書記 行方村河須崎書記 玉造町成島書記 手賀村高塚書記 延方村小林

三月一日統計協會總會の際協議事項として提出され、各代議員の承認する處となつた統計協會郡支部設置に就ては、西茨城郡が斷然縣下のトップを切つて三月十八日、笠間町役場樓上に各町村主任者が參集して總會を開き設立した、同日は縣より川崎統計課長及郡擔任の成瀬屬出席の午後零時三十分開會、劈頭去る二月十一日紀元節の佳辰に當り縣統計協會總裁より表彰された宍戸町統計主任川井德義氏に對する傳達式を舉行することとなり、成瀬屬舉式を告げ、川崎統計課長より表彰状を、成瀬屬より記念品を授與、川崎課長は安藤總裁の式辭を代讀す、次いで被表彰者川井氏の答辭、笠間町助役結解正氏の祝辭ありて閉式、續いて同支部總會に移り會の名稱變更(從來の郡統計事務研究会を縣統計協會西茨城郡

### 多賀郡支部創立

本縣統計協會多賀郡支部創立總會は三月二十五日多賀郡自治會館に開催、縣より川崎統計課長並に郡擔任の成瀬屬臨席し宮田(北部)丸山(南部) 統計事務研究會會長及び瀧(北部)弓野(南部)各副會長以下各町村統計主任出席、劈頭先づ去る紀元節に縣統計協會總裁より表彰された河原子町助役鈴木徹、松

原町書記沼田至之兩氏に對する表彰狀傳達式を行ひ、成瀬屬舉式を宣し、川崎統計課長より表彰狀を成瀬屬より記念品を授與し次で川崎課長安藤總裁の



川崎統計課長から表彰狀を授與する  
川崎統計課長鈴木徹、沼田至、河原木原町助役

式辭を代讀の後一場の挨拶を爲し、丸山南部統計事務研究會長の祝辭、受賞者總代鈴木徹氏の答辭

ありて閉式、續いて同支部創立總會に移り支部設置の件並支部長選任を議し支部長に松原町長宮田厚氏を選任會則を議定し、更に引續き研究に移り縣提出の指示、注意事項に就き成瀬屬の説明あり質疑應答を重ねて閉會した。

出席者左の通りである。  
(統計課)川崎統計課長、成瀬屬(坂上)丸

### 筑波中部研究会

山助役、田村書記 (河原子)鈴木助役、黒澤書記 (鮎川)黒澤書記 (助川)鍋木書記 (日立)大内書記 (日高)根本書記 (黒前)弓野助役、根本書記 (豊浦)吉田書記 (櫛形)椎名書記 (松原) 宮田町長、沼田書記 (松岡)佐藤書記 (高岡)豊田書記 (南中郷)瀧書記 (磯原)滑川書記 (關南)中軍書記 (大津)二田書記 (平潟)本瀧書記 (關本)水野書記

筑波郡中部統計事務研究会では三月二十六日同郡葛城村役場に於て定例研究会を開き縣統計課より同郡擔當の岡崎統計主事補が臨席した、午前十時研究会會長横田縣會議員の開辭について縣提出の左記事項を谷田部町富澤書記が朗讀、岡崎主事補より詳細説明の後質疑應答を重ね眞瀨村提出事項を附議し午後二時三十分閉會した。出席者左の如し

島名村長横田内藏之丞 同書記高谷文齋  
葛城村助役櫻井藤次郎 同収入役高野幸

支部となす)、會則の改正をなし、役員は孰れも重任に決し更に十年度同支部歳入歳出豫算を原案通り議決し其れより事業の遂行並事務の刷新向上に付種々協議し午後三時終了した。出席者左の如し

(縣統計課)川崎統計課長、成瀬屬(笠間町)結解助役、大嶺書記 (宍戸町)川井常設委員 (岩間町)宇都野書記 (大原村)石井書記 (大池田村)川松書記 (北山内村)田村書記 (東那珂村)宮崎書記 (北那珂村)輕部書記 (岩瀬町)物井書記

一郎 同書記中島敏 福岡村書記飯泉辰谷田部町書記富澤好彦 上郷村書記 大崎永次 旭村書記佐々木正美 眞瀨村書記宇都野竹雄

#### 指示事項

一、統計事務刷新改善に關する件 一、調査員訓練會に關する件 一、統計調査員の指導督勵に關する件 一、統計協會に關する件

#### 注意事項

一、報告期限の勵行に關する件 一、統計報告製表上に關する件 一、公私有林野人工造林に就て 一、公私有林野天然造林に就て 一、公私有林伐採に就て 一、統計費補助金に關する件 一、春蠶豫想掃立數量に就て 一、麥豫想收穫に就て

#### 眞瀨村提出協議案

一、米生産統計調査に就て  
一、統計協會總會開催に就て

### 立花調査員の視察

行方郡立花郡では去る四月十五日優



良村視察の爲今泉助役が調査員一行十名を引率して午前十時縣廳統計課に立寄りられ統計事務狀況計算機の實演を見學、廳内一巡の上那珂郡佐野村の統計事務を視察した。一行は左の通りである。

引率者 今泉助役、調査員 崎谷福二、狩谷淳、羽生利兵衛、川崎景治、小沼勇三郎、遠藤平次郎、荒井寅次郎、舟串恭藏、遠藤武雄、井野場貞雄

### 鹿島統計調査員會

鹿島郡鉾田町及白鳥村統計調査員會を議は四月五日白鳥村西尋常高等小學校に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤囑託が臨席、午前十時三十分白鳥村統計主任菅谷書記の開辭に次いで戸島白鳥村長の挨拶があり、齋藤囑託は挨拶を兼ねて農林商工統計報告規則取扱細則に基く調査方法の實施方に關し激勵したる後同細則に依り各種調査方法に對する説明並調査上に於ける注意を

爲し、續いて縣提出の調査員會々議要項(別項所載)に依り指示及注意を爲したる上質疑應答を行ひ一同熱心に研究協議を遂げ午後二時三十分閉會した。當日の出席者は左の通である。

### 出席者氏名

(縣統計課)齋藤囑託△白鳥村長戸島敬一郎 同書記菅谷保一、同調査員門井與志衛 入見彌範、森戸盛司、戸島爲男、日向寺富七、飯島甫、小野一二、菅谷覺雄、本澤歌之助、須賀金一△鉾田町書記石上誠 同調査員戸井田富重、笹目安五郎

### 北相馬郡町村長會

### 統計事務研究會

北相馬郡町村長會では四月八日同郡取手町元自治會館に統計事務研究會を開催したが之れに先だち紀元節の佳辰にあたり本縣統計協會總裁より統計事務功勞者として表彰された同郡菅生村書記大瀧寅直氏及文村書記篠崎浩氏に對し之が表彰傳達式を午前十一時より

舉行、縣統計課より川崎統計課長及郡擔任の菊池主事補が列席、同郡町村長會長新井内守谷村長舉式の辭を述べ、菊池主事補表彰文を朗讀、川崎課長から表彰狀並記念品を授與、安藤總裁の式辭を代讀して後祝辭を述べ町村長會長の祝辭、被表彰者代表文村書記篠崎浩氏の答辭ありて傳達式を終へ引續き菊池主事補より縣提出の研究事項に依り指示及説明を爲し最後に統計協會郡支部設置に關し協議を遂げ午後二時閉會した。出席者並研究事項左の如し

### 指示事項

- 一、農産物調査方法實施に關する件
- 一、調査員訓練會に關する件
- 一、農産物調査方法に示す以外の調査に關する件
- 一、事務簿の整理に關する件

### 注意事項

- 一、報告期限の勵行に就て
- 一、報告諸表の内容審査に就て
- 一、備考欄の活用に就て
- 一、各種豫想報告に就て
- 一、重要産物の豫想及實收高の公表に就て

一、一段歩收穫高決定書作成に就て  
 一、統計報告表製表上に就て  
 一、農産物調査算出表に就て  
 一、春蠶豫想掃立數量に於て  
 一、麥豫想收穫高に就て  
 一、菜種調査に就て  
 一、桑苗其他各種表に就て

### 出席者氏名

△縣廳側 川崎課長、菊池主事補 △郡町村長會 長新井芳之助、同幹事山田義伊 △菅生村 大瀧寅直 内守谷村 兼子作治 小絹村 吉田彌太郎 大井澤村 大串己之藏 大野村 貝塚久彌 高野村 渡邊留吉 守谷町

下村光三郎 高井村野口梅次郎 稻戸井村海老原林次 山王村高野保 寺原村小笠原龜次郎 取手町市村卓 井野村古谷誠 小文間村齋藤鐵三郎 相馬町色川新太郎 高須村杉山常吉 川原代村下妻簡三郎 北文間村來栖正 文村篠崎浩 布川町石塚庄作 文間村大野喜一 東文間村坂本惠

### 久慈郡支部創立

久慈郡統計事務研究會は統計協會支部創立總會を兼ねて四月十五、十六の

兩日全郡自治會館に各町村主任者が出席して開催、縣より川崎統計課長並に郡司屬が出席した、研究會開會に先ち紀元節の佳辰に當り縣統計協會總裁より表彰された小里村書記小田部嘉一、佐竹村書記片岡榮三、中里村農林商工統計調査員鈴木國一郎諸氏に對する表彰狀の傳達式を舉行、郡司屬舉式を宣し川崎統計課長より表彰狀を郡司屬より賞品を授與し次いで川崎統計課長は安藤總裁の式辭を代讀の後一場の挨拶

### 統計調査員

市町村		報告期限	
六月	綿織物産額調(特定町村)	三月	五日
六月	絹織物及絹綿交織物産額調(〃)	五月	五日
六月	人口動應調査票	五月	五日
六月	賃錢(〃)	五月	五日
六月	果樹苗	十五日	十五日
六月	茶畑	十五日	十五日
六月	桑畑	十五日	十五日
六月	春蠶	十五日	十五日
六月	春蠶豫想收穫高	十五日	十五日
六月	春蠶豫想收穫高	十五日	十五日
六月	濃粉	十五日	十五日
六月	綠肥用作物	十五日	十五日
六月	末日	十五日	十五日
七月	園藝農産物	十月	十日
七月	エンドウ、ソラマメ其他春	十月	十日
七月	季調査ニ屬スル分ノ集計報告	十月	十日
七月	綠肥用作物	十七日	十七日
七月	春蠶豫想收穫高(十五日現在)	二十日	二十日
七月	春蠶票提出	二十日	二十日
七月	家禽調査準備並實施	三十日迄	三十日迄
七月	桑畑	五日	五日
七月	茶畑	五日	五日
七月	夏季作付段別調査準備並實施	五日	五日

を爲し、小祝町村長會幹事の祝辭、受賞者總代小田部嘉一氏の答辭があつて閉式續いて同支部創立總會に移り支部設置の件を満場一致を以て決議の上、會則を議定し尙引續き研究に移り縣より提出の指示、注意事項に就き郡司屬より説明して質疑應答を爲し閉會した。出席者は左の如し

- (統計課) 川崎統計課長、郡司屬 (統計協會久慈郡支部) 小祝幹事 (機初) 加藤書記 (世矢) 黒澤書記 (坂本) 大内書記 (西小澤) 高野書記 (幸久) 宇野書記 (佐竹) 片岡書記 (郡戸) 安書記 (久米) 富永書記 (金郷) 仲田書記 (世喜) 古徳書記 (金砂) 會澤書記 (高倉) 吉成書記 (天下野) 根本書記 (榮和田) 鈴木書記 (山田) 和田助役 (譽田) 江幡書記 (佐都) 渡邊書記 (河内) 鈴木書記 (中里) 鶴田書記 (賀美) 助川書記 (小里) 小田部書記 (生瀬) 川上書記 (宮川) 菊池書記 (黒澤) 益子書記 (依上) 益子書記 (佐原) 矢田部書記 (大子) 皆吉書記 (袋田) 藤田書記 (諸富野) 中島書記 (太田) 滑川書記

菅村小學校に於て同郡中部統計事務研究會並に統計調査員會を開催、縣統計課より郡擔任の筑内主事補出席した、此の日は村長不在のため全村主任書記の司會の下に開催され、開辭に次ぎ筑内主事補より縣提出の統計調査員會要項に就き詳細に互り説明をなした後質疑應答を重ね何れも熱心に研究された

會議要項

- 一、調査員會開催の趣旨 一、報告期限の勵行に關する件 一、調査區の境界に關する件 一、調査準備に關する件 一、作付反別調査原簿に關する件 一、作付反別實地調査に關する件 一、農産物其の他調査時期選擇に關する件 一、集計表にする件 一、收穫高の決定に關する件 一、春季調査に關する件 一、米生産統計調査の件 一、米生産統計基準票 一、米生産統計調査票 一、米作地見取圖

尙ほ出席者は左の通りである

△五霞村助役藤沼文三全書記小野寺繁藏

(久慈)大内書記

多賀 學事事務研究會

多賀郡南部學事事務研究會は四月十四日助川町役場内に開催した、縣より統計課の成瀬屬出席して學事年報甲欸及諸表の作成上の注意及様式に就ての詳細なる説明があり質疑應答をなし散會した。出席者は左の通りである

Table with columns for names and titles of participants in the study meeting.

猿島中部研究會

四月八日午前十一時より猿島郡生子

調査員十名△長田村書記加藤由之助、調査員七名△幸島村書記赤岩啓四郎△森戸村書記田村芳藏調査員三名△靜村書記五月女秋三郎△猿島村書記野中久衛△八俣村書記高橋伊七郎調査員六名△逆井山村和田喜市△生子村書記鶴見忠調査員十名

北郡西部研究會創立

北相馬郡西部十ヶ村では四月十二日小絹村小學校に統計事務研究會創立總會並調査員指導訓練會を開催した、縣統計課より川崎統計課長及郡擔任の菊池主事補が列席、午前十時二十分小絹村野本村長の開辭により開會、川崎課長は統計の重要な所以及調査員の職責に就て訓示を兼ね激勵の挨拶を述べ菊池主事補より調査員會議要項に依り説明を爲し質疑應答あり零時三十分調査員訓練會を終了、午後二時より西部統計事務研究會創立總會を開き小絹村中村助役の挨拶について同村吉田書記の經過報告あり小絹村長議長となりて

統計調査員異動

(上は新任 括弧内は舊)

Table showing personnel changes for statistical surveyors across various regions.

Table showing personnel changes for statistical surveyors across various regions.

會則並に豫算を議決し菊池主事補の告辭ありて午後四時閉會した。

創立總會出席者

△小絹村長野本鷹之助、同助役中村督次郎、同書記吉田彌太郎△菅生村長鈴木敏同書記大瀧寅直△内守谷村書記兼子作治△坂手村助役石塚源吉△大井澤村書記谷田具市藏△大野村書記貝塚久彌△守谷町長古谷茂三郎、同書記同書記田中正△高野村長寺田通三郎、同書記渡邊留吉△稻戸井村書記海老原林次△高井村書記野口梅次郎

調査員訓練會出席者數

(菅生村)四名 (坂手村)八名 (内守谷村)四名 (小絹村)九名 (大井澤村)五名 (大野村)五名 (高野村)五名 (高井村)四名 (守谷町)七名 (稻戸井村)十名

### 統計調査員部會表彰

久慈郡中部統計事務研究會は四月二十三日金砂村役場に開催され併て中部研究會長より表彰の五ヶ年以上勤続後退職した統計調査員に對する表彰式が

舉行された、午前十時半菊池金砂村長開會を宣し、元高倉村統計調査員小室一郎外五氏に效績状を交付し郡司屬の祝辭があつて後、研究會に移り別記町村提出の協議事項並昭和八年度全九年度の決算報告を附議し午後二時閉會した。

#### 協議事項

- 一、合筆調査に關する件(世喜村提出)
- 一、農林統計報告規則取扱細則に依る調査集計表の改正に關する件
- 一、統計調査員在職中死亡の場合統計協會總裁より弔辭並弔慰料を賜り弔意を表せられ度件(以上賀美村提出)

#### 被表彰者

元高倉村統計調査員小室一郎、元梁和田村全石川健次、元賀美村全権名治昭、元世喜村全砂川信一、菊池徳重、元金砂村全中西忠陸

#### 出席者

(縣)郡司屬(金砂)菊池村長、會澤書記(小里)小田部書記(賀美)助川書記(中里)鶴田書記(高倉)吉成書記(天下野)根本書記(梁和田)鈴木書記(金郷)荒井書記(世喜)古德書記

同	四月二十二日	久慈郡金砂村
同	中西 厚	(中西 忠陸)
同	四月二十二日	東茨城郡岩船村
同	平賀 金	(平賀 誠)
同	五月一日	北相馬郡高野村
同	長塚 富三郎	(石塚 定次)
同	岩田 正	(岩田 毅)
同	四月三十日	久慈郡賀美村
同	北野 新一郎	(北野 鷹之介)
同	石川 重太郎	(石川 源太郎)
同	大森 勇男	(権名 治昭)
同	五月二日	北相馬郡小絹村
同	飯田 一太郎	(中村 勝次郎)
同	五月三日	新治郡志筑村
同	坂野 滿雄	(坂野儀右衛門)
同	金子 俣	(市ノ澤 好光)
同	五月四日	猿島郡生子菅村
同	山口 吉三郎	(塚原 記三郎)
同	染谷 伊平	(染谷 和三郎)
同	片倉 伊十郎	(染谷 定四郎)
同	五島 武助	(金久保 善平)
同	板垣 義幹	(青木 長松)

## 沿海四十里

### 縹渺誇る霞ヶ浦

# 水産實に八百萬圓

本縣にのみ恵まれた無限の寶庫

### 縣統計課の調査

總額に於て百五十二萬

先頃、縣廳内に開かれた産業振興會議に於いて安藤知事がいはれた如く、本縣は生産物の需給關係上絶好な地の利を占めてゐる一方、四十里に垂んとする海岸線を有し、我國第二を誇る霞ヶ浦を擁することは、獨り本縣にのみ與へられたる天恵ともいふべく、この天然の寶庫を開けば水産無限の發展を語りて餘りあるものがある。本年四月縣統計課の調査したところによると、昭和九年における本縣の水産物總價額は實に七百八十萬九千二百一十一圓に上つてゐる、これを種類別に觀れば

◇沿岸漁獲物が二百八十一萬七千八百五圓◇遠洋漁業が百三十八萬八千九百七十六圓◇水産養殖によるもの三萬六千四百二十圓◇水産製造物が三百五十六萬五千八百二十圓となつてゐる、然してこれを前年に比べてみると

七千四百六十九圓(二割四分三厘)を増し、沿岸漁獲物で二十五萬四千九百四十六圓(九分九厘)、遠洋漁業に於て二十萬五千八百八十八圓(一割七分四厘)、水産養殖に於て四千四百三圓(一割三分八厘)、水産製造物において百六萬三千四百八十二圓(四割二分五厘)の何れも素晴らしい増加を示した。更にこれを郡市別にすると鹿島郡の二百三十三萬九千五百一圓が第一位で、多賀の二百二萬八千五百十八圓之れに次ぎ、那珂の百六十六萬九千四百九十圓、久慈の八十七萬四千八百八圓、東茨城の三十七萬五千二百八十四圓、行方の二十二萬七千七一圓、新治の十七萬三千四百六十八圓の順序となり、稻敷、北相馬、筑波、猿島、結城、眞壁、水戸、西茨城の順位に何